

令和元年度 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の年間計画（案）

（5 部会：子ども支援部会、暮らし支援部会、就労支援部会、相談支援部会、権利擁護部会）

※今年度は、地域生活支援拠点等の整備推進のため、暮らし支援部会と相談支援部会を合同で実施予定です。

■子ども支援部会

◆開催予定時期

【第 1 回】令和元年 9月

【第 2 回】令和元年 11月

◆部会の内容

【第 1 回】

<テーマ>

「相談支援事業所向け研修会」

- ・相談支援事業所を対象とし、「障がい児の発達についての理解」や「障がい児利用支援計画」の立て方（短期、長期目標、モニタリング及び見直しなど）について学ぶ研修会を実施する。

また、それぞれの事業所が抱える課題など意見交換を行い、課題解決に向けた共通理解を図る。

【第 2 回】

<テーマ>

「家庭・教育・福祉の連携による切れ目のない支援」について

- ・家庭・教育・福祉の連携「トライアングル」プロジェクトの推進を図るなか、保護者支援に力を入れる。支援の推進を図るための1つのツールである「スマイルブック」については、昨年度作成した「高校年齢シート」のその後の活用状況報告及び今後の活用方法など、より有効に活用できる仕組みづくりを協議する。

また、教育、子育て、福祉、医療、保健など関係機関それぞれの役割及びと連携を図る方策について協議を行う。

■暮らし支援部会・相談支援部会

◆開催予定時期

【第1回】令和元年 7月

【第2回】令和元年 9月

【第3回】令和元年 11月

◆部会の内容

【第1、2、3回】

<テーマ>

「地域生活支援拠点等の整備に向けて」

- ・地域生活支援拠点等の機能の中で、最もニーズが高い「緊急時の受け入れ・対応」について、相談支援事業所や受け入れ事業所からの困難事例の提供を受け、「緊急」、「困難さ」の状況に付いて分析、把握する。
- ・「緊急」、「困難さ」の指標を確認し、対応するためにはどのような課題があるか、検討する。
- ・検討した課題に対し、どのような機能が必要となるのか、どこがどの機能を担うのか等を、検討する。

■就労支援部会

◆開催予定時期

【第1回】令和元年 8月

【第2回】令和元年 12月

◆部会の内容

【第1回】

<テーマ>

「福祉就労まるっと相談フェア ～福祉的就労ってなんだろう～」

- ・市内の就労支援事業所について知ってもらい、就労のための情報収集の場として、また就職活動の方法や就職の方向性について相談する場として、福祉就労まるっと相談フェアを開催する。
- ・市内の特別支援学校、各種手帳所持者で未就労の方やその家族、民生児童委員や支援員などの地域や事業所等で利用者支援を行っている方を対象に、市内の事業所、ハローワーク、大垣市就労支援センター、ひまわりの花、精神保健福祉センターなどを招き、同一会場内で事業所の紹介と就労希望者や支援者などが個別に相談できる会場を設ける。

【第2回】

＜テーマ＞

「相談・支援の在り方 ～仕事、職場をステップアップするために～」

- ・就労支援の場において、精神疾患のある方の支援方法について困難さを感じているという課題があることから、就労支援事業所や相談支援事業所、障がい者の就労に携わる方を対象に精神疾患のある方の相談・支援の在り方に関する講演と事例検討を実施する。
- ・精神障がい者との関わり方やステップアップのための支援の在り方、継続的な勤務ができるような支援の仕方を学び、計画相談支援や個別支援計画へつなげ、各事業所の質の向上を図る。

■権利擁護部会

◆開催予定時期

【第1回】令和元年 8月

【第2回】令和2年 1月

◆部会の内容

【第1回】

＜テーマ＞

「虐待防止にむけたアンガーマネジメント」

- ・障害福祉サービス事業所等の職員を対象に、障がい者の理解を含めたアンガーマネジメントについて考える障がい者虐待防止研修会を開催する。
- ・研修会において、各事業所における虐待防止に対する事例検討、虐待防止ネットワーク体制づくりに役立てる。

【第2回】

＜テーマ＞

「成年後見制度における地域連携ネットワークづくり」

- ・地域の困っている人に対して、成年後見制度にどうつなげて行くか、後見制度につなげるためには地域においてどのような体制が必要かを地域の法人後見事業所や専門職団体、家庭裁判所等と他市の取り組みや事例を通じて検討する。
- ・成年後見制度利用促進に関する中核機関の設置や地域連携ネットワークづくりに役立てる。